

平成29 年度（ 28 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 29 年 11 月 1 日

1 事務事業の現状（DOC）	事務事業名 No. 660101 国際交流事務		主管課名 秘書課										
	この事務事業の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		課長名 清水創一								
		施策	多様な文化に親しみ、ふれあえるまち										
		基本事業	国際交流活動の充実										
	(1)事業の概要												
	平成7年2月に友好提携したコロンバス市との交流、愛知県国際交流協会等の国際交流推進団体との連携づくりと情報収集を行う。 また、国際交流に関する原務を行う。 隔年でコロンバス市の高校生がみよし市を訪問し、ホームステイ等を通じて日本の文化・習慣を学び市民との交流を図る。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)									
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>コロンバス市からの賓客が来訪した回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>負担金の支払先</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	コロンバス市からの賓客が来訪した回数	回	負担金の支払先	団体	その指標	
	名 称	単 位											
	コロンバス市からの賓客が来訪した回数	回											
	負担金の支払先	団体											
その指標													
(28年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)愛知県国際交流協会などの国際交流関連団体との情報交換や負担金の支払いをした</li> <li>・コロンバス市から学生が来訪。協働推進課と連絡調整しながら、ホームステイや体験入学などを実施し、日本の文化・習慣を体験してもらうとともに市民との交流を図った。</li> <li>・コロンバス市長及びコロンバス市経済開発公社社長がみよし市を訪問。情報交換や、今後の交流継続の確認をした。</li> </ul>										
29年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	平成29年度は友好都市コロンバス市高校生来訪団によるみよし市訪問の予定はない。										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)										
市民			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	人口	人	その指標				
名 称	単 位												
人口	人												
その指標													
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)										
国際交流の知識や必要性を理解し、国際協力意識が向上する			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>国際交流ボランティア登録者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	国際交流ボランティア登録者数	人	その指標				
名 称	単 位												
国際交流ボランティア登録者数	人												
その指標													
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)										
自主的な交流活動をしてもらう			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>国際交流事業が重要だと答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>国際交流事業に満足していると答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	国際交流事業が重要だと答えた人の割合	%	国際交流事業に満足していると答えた人の割合	%	その指標		
名 称	単 位												
国際交流事業が重要だと答えた人の割合	%												
国際交流事業に満足していると答えた人の割合	%												
その指標													
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標													
指標	年度	単位	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値	30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値					
(5)の活動指標		回	1	2	2	2	2	2					
		団体	3	3	3	3	3	3					
(6)の対象指標		人	60,365	60,860	61,154	61,449	61,744	62,036					
(7)の成果指標		人	48	42	44	46	48	50					
(8)の結果の成果指標		%	62	63.8	64	64	66	67					
		%	42.6	50	51	52	53	54					
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	02	項	01	目	01		
(11)コスト		年度	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値	30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値					
事業費(決算又は予算額)		単位	116	426	167	829	167	829					
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0					
	その他	千円	0	0	0	0	0	0					
	一般財源	千円	116	426	167	829	167	829					
	人件費B	千円	5,810	5,810	4,492	5,370	4,492	5,370					
	正職員従事時間×人数	時間×人	520×3	520×3	435×3	520×3	435×3	520×3					
	正職員以外の人件費	千円											
その他費用C		千円	106	64	30	64	30	64					
トータルコストA+B+C		千円	6,032	6,300	4,689	6,263	4,689	6,263					
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	0	0	0	0	0	0					

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	660101	国際交流事務
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成8年度 から			みよし市民とコロナバス市民の往来を多くし、相互の交流を深める事業の検討
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
平成7年2月のコロナバス市との友好提携を契機に、まち・市民の国際化推進を図るため。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない 変化し 外国人人口の変動や、各分野でのグローバル化の進展				

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	なし 異文化への理解、外国人との共生は住みよいまちづくりに重要であり、市としての業務である。	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容	コロナバス市からの賓客の送迎ができない。他の国際交流関連団体との情報交換の場なくなる。
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容	多文化共生事業を推進する。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	多文化共生推進事業 ある 内容 国際交流に関する庶務を多文化共生推進事業に一元化する。なお、コロナバス市との交流の所管は、引続き秘書課とする。
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない 受益者がいない	現状で適正 検討が必要	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						

平成29 年度（ 28 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 29 年 11 月 1 日

1 事務事業の現状(DOC)	事務事業名 No. 660103 友好都市教育親善大使受入事業		主管課名 学校教育課								
	この事務事業の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち								
		施策	多様な文化に親しみ、ふれあえるまち								
		基本事業	国際交流活動の充実								
	(1)事業の概要										
	友好都市コロナバス市からの教育親善大使訪問時の行動計画を作成し実施する。 小中学校における教育親善大使との友好交流及び国際交流をより深めるため、小中学校国際交流委員会に事業実施委託する。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)							
				名 称	単 位						
				大使数	人						
				滞在日数	日						
				その指標							
(28年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		例年 現地担当者(Friends of Miyoshi)に大使を選出してもらう。 大使の渡航の手配を行う。 大使の訪問日程を作成。必要に応じて通訳者を依頼する。									
29年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)								
コロナバス市からの代表団、教育親善大使、高校生等 市内小中学生			名 称	単 位							
			大使訪問校数	校							
			児童生徒数	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)								
みよし市、コロナバス市の相互について理解を深めることで、国際交流への関心を持ってもらう。			名 称	単 位							
			訪問予定時間に対する実績割合	%							
			パートナー校との交流を行った学校の割合	%							
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)								
自主的な交流活動をしてもらう			名 称	単 位							
			国際交流の推進が重要だと思う人の割合	%							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単 位	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値	30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値			
(5)の活動指標		人	1	1	1	1	1	1			
		日	10	10	10	10	10	10			
(6)の対象指標		校	12	12	12	12	12	12			
		人	6,424	6,274	6,176	6,118	6,033	5,975			
(7)の成果指標		%	100	100	100	100	100	100			
		%	100	100	100	100	100	100			
(8)の結果の成果指標		%	62	65	65	65	65	65			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	01	目	02
(11)コスト		年度	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値	30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単 位	324	277	348	348	348	348			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	300	0	0	0			
	一般財源	千円	324	277	48	348	348	348			
人件費 B		千円	559	1,397	1,291	1,291	1,291	1,291			
正職員従事時間×人数		時間×人	75 × 2	375 × 1	375 × 1	375 × 1	375 × 1	375 × 1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0			
その他費用 C		千円	29	310	310	310	310	310			
トータルコスト A+B+C		千円	912	1,984	1,949	1,949	1,949	1,949			
単位あたりコスト (トータルコスト / (6)の対象指標)	千円/ 校	76	165	162	162	162	162				
	千円/ 人	0	0	0	0	0	0				
	千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 660103 友好都市教育親善大使受入事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成9年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 平成8年10月に友好都市コロンバス市及び市地域教育事務所との教育提携を契機に、コロンバス市地域学校との学校間交流を促進させることを目的として開始。	教育親善大使が訪問される際、学校間のより良い交流の仕方について意見交換が必要である。各学校での交流担当になる教員は毎年少しずつ変わるが、担当が変わっても途切れないスムーズな連絡調整等できるようにしておく必要がある。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化しコロンバス市との交流(学校間交流)が恒例変化している 変化した内容 となってきた。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 なし この事務を行う根拠又は理由	友好都市コロンバス市との交流を継続・発展させる上で、地域学校との学校間交流は必要であるため。	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容	教育親善大使は、教育提携に基づき受入している。廃止した場合、学習の一部として小中学生が異文化に触れる機会が失われる。
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容	直ちにコロンバス市への関心や認知度を高めることは困難ですが、当該事業により着実にコロンバスの認知度・関心は高まっている
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名の再編の可能性	友好都市中学生派遣事業 ある ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持

平成29 年度（ 28 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 29 年 11 月 1 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 660104 友好都市中学生派遣事業		主管課名 学校教育課										
	この事務事業 の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		課長名 新美 貴宏								
		施策	多様な文化に親しみ、ふれあえるまち										
		基本事業	国際交流活動の充実										
	(1)事業の概要												
	友好都市コロナバス市へ市内の代表中学生を派遣し、国際交流、地域間交流を推進する。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)									
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>研修回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>派遣人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	研修回数	回	派遣人数	人	その指標	
	名 称	単 位											
	研修回数	回											
	派遣人数	人											
その指標													
(28年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)			例年、友好都市コロナバス市へ派遣する中学生を4月に募集、5月に選考し、友好都市へ代表者を8泊10日派遣している。現地では、市長への表敬訪問、市内視察をしたり、ホームステイ先の子供と学校での生活を体験している。(三好中4名、北中4名、南中4名、三好丘中4名 合計16名)										
29年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容											
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)										
市内中学2年生			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>中学2年生生徒数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	中学2年生生徒数	人	その指標				
名 称	単 位												
中学2年生生徒数	人												
その指標													
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)										
異文化を直に体験することにより、国際的視野を広げ、国際理解を深める			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>交流を深めたと感じた生徒数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>コロナバス市派遣団員生徒数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	交流を深めたと感じた生徒数	人	コロナバス市派遣団員生徒数	人	その指標		
名 称	単 位												
交流を深めたと感じた生徒数	人												
コロナバス市派遣団員生徒数	人												
その指標													
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)										
自主的な交流活動をしてもらう			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>国際交流の推進が重要だと思う人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	国際交流の推進が重要だと思う人の割合	%	その指標				
名 称	単 位												
国際交流の推進が重要だと思う人の割合	%												
その指標													
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標													
指標	年度	単位	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値	30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値					
(5)の活動指標		回	8	8	8	8	8	8					
		人	16	16	16	16	16	16					
(6)の対象指標		人	758	725	743	717	640	654					
(7)の成果指標		人	16	16	16	16	16	16					
		人	16	16	16	16	16	16					
(8)の結果の成果指標		%	62	65	65	65	65	65					
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	03	目	02		
(11)コスト		年度	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値	30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値					
事業費(決算又は予算額)		単位	5,610	4,635	6,732	6,732	6,732	6,732					
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0					
	その他	千円	4,512	4,323	4,017	4,000	4,000	4,000					
	一般財源	千円	1,098	312	2,715	2,732	2,732	2,732					
人件費B		千円	1,550	1,610	1,490	1,490	1,490	1,490					
正職員従事時間×人数		時間×人	136×3	213×2	213×2	213×2	213×2	213×2					
正職員以外の人件費		千円	30	23	23	23	23	23					
その他費用C		千円	140	321	321	321	321	321					
トータルコストA+B+C		千円	7,300	6,566	8,543	8,543	8,543	8,543					
単位あたりコスト		千円/人	10	9	11	12	13	13					
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/											

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	660104 友好都市中学生派遣事業			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	平成10年			から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			議会からは、中学2年生の応募対象数が増加傾向にあるので、現在の定員16人を拡大してはどうかとの意見がある。		
「21世紀の教育提携書」に基づく交流の推進を図るため						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない			変化し海外から帰国する生徒も増えており、国際的な感覚が増加している。			

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
					この事務を行う根拠又は理由	みよし市国際交流事業補助金交付要綱
						国際理解教育並びに地域理解教育の推進
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
				拡大		
				縮小		
(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容			
	できない	→				
		追加				
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
		多少影響がある	→			
		影響はない	→			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	派遣する中学生の負担を考え、現行の事業内容が妥当である。		
	できない	→				
(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	ある → 内容		
	ない	→			類似事業との再編の可能性	ない
		庁内事業				
		庁外事業				
効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容	ホテル泊の日程をホームステイに変更することによって事業費削減はできる。	
		ない	→			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	ない	→				
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容		
		ない	→			
		現状で適正				
		検討が必要	→			
		受益者がいない				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						

平成29 年度（ 28 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 29 年 11 月 1 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 660201 多文化共生推進事業		主管課名 協働推進課												
	この事務事業 の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		課長名 村田信光										
		施策	多様な文化に親しみ、ふれあえるまち												
		基本事業	多文化共生の推進												
	(1)事業の概要														
	定住化傾向にある外国人に、一市民としてまちづくりに参加してもらったためには外国人との意思疎通と相互の理解を図ることが重要であることから、日本語指導、通知文書等の翻訳などの事業を推進する。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)											
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>日本語教室の開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	日本語教室の開催回数	回					その指標	
	名 称	単 位													
	日本語教室の開催回数	回													
その指標															
(28年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)			ボランティアの講師による日本語教室を週2回開催。外国人学習者を増やすため、市内の集客施設、特に外国人がよく利用する施設に依頼しPRチラシを配布した。指導法のレベルアップを目指して、ボランティア向け勉強会を実施し日本語教室の充実に努めた。												
29年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容													
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)												
みよし市在住外国人			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>みよし市在住の外国人の人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	みよし市在住の外国人の人数	人							
名 称	単 位														
みよし市在住の外国人の人数	人														
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)												
日本語教室での学習者数を増やす			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>みよし市日本語教室に通う外国人学習者の人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	みよし市日本語教室に通う外国人学習者の人数	人							
名 称	単 位														
みよし市日本語教室に通う外国人学習者の人数	人														
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)												
多文化共生、国際交流の推進を図る			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>国際交流事業に対してやや満足以上と答えた比率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		名 称	単 位	国際交流事業に対してやや満足以上と答えた比率	%							
名 称	単 位														
国際交流事業に対してやや満足以上と答えた比率	%														
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標															
指標	年度	単位	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値	30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値							
(5)の活動指標		回	72	75	72	72	72	72							
(6)の対象指標		人	1,648	1,732	1,820	1,900	1,980	2,060							
(7)の成果指標		人	122	126	135	140	145	150							
(8)の結果の成果指標		%	42.6	50	48	48	48	48							
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	02	項	01	目	18				
(11)コスト		年度	27年度実績値	28年度実績値	29年度計画値	30年度目標値	31年度目標値	32年度目標値							
事業費(決算又は予算額)		単位	267	248	282	820	823	827							
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0							
		県支出金	千円	0	0	0	0	0							
		地方債	千円	0	0	0	0	0							
		その他	千円	0	0	0	0	0							
		一般財源	千円	267	248	282	820	823	827						
人件費 B		千円	1,200	1,155	1,068	1,068	1,068	1,068							
正職員従事時間×人数		時間×人	161 × 2	155 × 2	155 × 2	155 × 2	155 × 2	155 × 2							
正職員以外の人件費		千円	0												
その他費用 C		千円	0	22	22	22	22	22							
トータルコスト A+B+C		千円	1,467	1,425	1,372	1,910	1,913	1,917							
単位あたりコスト		千円/ 人	1	1	1	1	1	1							
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/													

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	660201	多文化共生推進事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成22年度			から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			日本語学習機会の提供をはじめとする在住外国人支援を考える中で、外国人のニーズを把握したり、外国人と日本人が意見交換したりする機会がない。
三好町国際交流協会の解散に伴う。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している		変化した内容

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令			
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	→	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する			
			結びつかない		根拠法令		みよし市多文化共生センターの利用登録に関する要綱	
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	この事務を行う根拠又は理由	在住外国人の日本語修得機会の創設による多文化共生の推進。		
			できない				拡大	縮小
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	理由	内容			
		できない				追加	拡充	絞込み
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→	理由又は内容			
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	多少影響がある				理由又は内容	案内チラシの配布範囲を拡充する。
			影響はない					
(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？		できる	→	理由又は内容				
できない	ある	庁内事業				類似事業名		
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	理由又は内容	類似事業との再編の可能性	ある	内容		
	ない						ない	内容
効率性	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	理由又は内容				
	ない	ない				内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	理由又は内容				
		ない				現状で適正	検討が必要	内容
		受益者がいない						

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	現在、日本語教室について無償ボランティアによる講師により運営しているものを、有償ボランティアとし日本語教室の運営の安定化を図る。					